



静岡県
石川歯科
鷲野 崇 先生

前歯にも臼歯にも高いレベルで修復が行えるコンポジットレジン

この度発売されたハーモナイズについて、4つのキーワード、臨床例と共に特長をご紹介します。

1.前歯修復に適した審美性;カメレオン効果

従来のコンポジットレジンでは、入射した可視光が拡散か反射のどちらか一方に偏る傾向がありました。ハーモナイズは天然歯同様、短い波長は拡散、長い波長は反射することで自然な光拡散性が再現され、残存歯質へのカメレオン効果を発揮します。

2.前歯修復に適した審美性;研磨性

極めて微小なジルコニアフィラー(5nm)がシリカフィラー(20nm)を取り囲んだ2-3 μ mの球状クラスターフィラーを形成しています。ナノサイズフィラーにより、研磨後はエナメル質同様の高い光沢感が得られます。臨床では、カーのオプチワンステップ ポリッシャーを併用することで、

短時間で美しい艶感を与えることができます。

3.臼歯修復に適した物性;耐摩耗性

高いフィラー含有量81%(重量%)により、優れた物性と、高い耐摩耗性が得られています。また、従来の大きなフィラーでは脱落により摩耗しやすく、艶感が失われる問題がありました。ハーモナイズのナノサイズフィラーは脱落した場合も、表面性状に与える影響が少なくなります。

4.臼歯修復に適した物性;ベタつきの少ない操作性

フィラーサイズが不均一なコンポジットレジンでは器具離れが悪くなります。ハーモナイズは、均一化されたフィラー粒子と増粘剤技術により器具離れがよく、充填・賦形が容易で安定したCR修復が行えます。

ハーモナイズは、カーのコンポジットレジンの中でも高い強度を示し、審美性、操作性、研磨性について大変優れています。前歯にも臼歯にも高いレベルで修復が行えるユニバーサルコンポジットレジンと言えます。

中切歯の臨床



右上中切歯Ⅳ級窩洞の修復。通法に従いオプチダムを用いて防湿後、形成、ボンディング処理を行う。



ハーモナイズのデンチンA2、エナメルA2を積層充填。器具離れが良く、思い通りの築盛を自在に行うことができる。



隣在歯の形態を参考に、形態修正を行う。オプチワンステップ ポリッシャーを用いることで、短時間で美しい艶感を与えることができる。



残存歯質と調和した審美的な修復を行うことができた。

小白歯の臨床



左上第二小白歯のインレー下にう蝕を認める。



う蝕除去後、オプチダムとソフトクランプを用いて防湿を行い、アダプトセクショナル マトリックスを用いて隔壁を施す。



Ⅱ級窩洞で最も難しいのは隣接面形態の付与である。先にこの操作を丁寧に行い、その後、一級窩洞同様の充填を行う。窩洞深部にハーモナイズのデンチンA3.5を充填し、エナメル質相当部には明度と透過性が高いエナメルA1を使用した。



前歯同様の高い操作性により、機能的な咬合面形態を付与することができた。研磨にはオプチワンステップ ポリッシャーを使用している。

鷲野 崇 先生による中切歯の充填、研磨をご覧ください。

<https://youtu.be/51vzmQqiDBU>

QRコードで
今すぐアクセス

